

AMDAの小児病棟建設

日本政府が8万4000ドル

在ミャンマー大使館で調印式

【ヤンゴン18日＝比嘉一

隆】NGOのAMDA（ア

ジア医師連絡協議会、本部

・岡山市）が進めているミ

ヤンマー・メッティーラ地

区での小児病棟建設計画に

対し、政府は草の根無償資

金として八万四千ドル（約一

千万円）を提供することを

決め、十八日、ヤンゴンの

在ミャンマー日本大使館で

調印式を行った。同資金は

日本のODA（政府開発援

助）の一部から、国内外の

NGOのプロジェクトに拠

出される。政府は昨年度だ

けでミャンマーに対し、二

十件、総額約百九万ドルにの

ぼる援助をしている。

調印式には、朝海和夫大

使、AMDAから現地に駐

在している大森佳世コーデ

イナーター、医療活動をし

てきた吉岡秀人医師らが出

席。朝海大使は「国民レベ

ルの人と人とのつながりが

できる活動になることを期

待している」と話した。

二十日にはメッティーラ

で起工式が行われる。小児

病棟は一年後に完成する予

定で、その後は日本人医師

を派遣したり、ミャンマー

人医師を日本に呼んで研修

を受けてもらうなどソフト

面の運営に力を入れる方

針。募金に関する問い合わせ

せは、AMDA本部内の

「ミャンマー子ども病院支

援委員会事務局」（☎08

6・284・7730）

へ。